

令和４年度
那覇市観光審議会答申
「那覇市コロナ期観光回復戦略の進捗評価
と今後の取組に関する提言について」

令和４年７月１４日
那覇市観光審議会

那覇市観光審議会答申

那覇市では、那覇市観光基本計画を2015年6月に策定し、3つの将来目標値である「観光収入：4,500億円」「観光客一人当たり市内消費額90,000円」「延べ市内宿泊客数：1,300万人泊」の達成に向け計画を推進してきた。

計画を進めるなかで、2020年（令和2年）の初めの頃から新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、那覇観光を取り巻く環境が大きく変化したため2020年4月に中間見直し作業を行う予定だったが、こうした状況を踏まえ、中断を余儀なくされた。

新型コロナ拡大を受けて国より発令された1回目の緊急事態宣言（2020（令和2）年4月）から1年以上経過してもなお、感染症拡大は収まらず、那覇観光への影響が長期化していた状況を踏まえ、2021（令和3）年11月「那覇市コロナ期観光回復戦略」を策定し、観光回復を牽引する観光施策の当面の方向性を示したところである。

今回、令和4年5月20日付け諮問第1号に基づき、5月から7月にかけて計3回の審議を行い、コロナ期における観光関連産業への支援や消費喚起策等の観光施策を中心に議論を進めてきた結果を踏まえ、答申として取りまとめた。

本提言は、それらの議論を那覇市コロナ期観光回復戦略にて掲げる基本的な考え方を基に、優先的に実施が必要な観光施策及び具体的取組としている4つの戦略の柱と10の取組の内容毎に取りまとめたものである。

那覇市においては、本答申内容を踏まえた今後の観光回復に関わる具体的事業の企画立案、実施、見直し改善等を迅速に行い、那覇市の観光回復を推進することを強く望むものである。

那覇市コロナ期観光回復戦略進捗評価について

那覇市コロナ期観光回復戦略で定める戦略の柱・内容毎の令和3年度の実施について「A. 高く評価できる」、「B. ある程度評価できる」、「C. あまり評価できない」、「D. 評価できない」「E. 判断不可」の5段階で、進捗評価を行なった。

那覇市観光審議会としての戦略の柱・内容毎の評価及び委員意見について、以下のとおり示す。(※ 「評価の詳細」の評価人数は未評価の項目もあるため、委員総数に必ずしも一致しない)

戦略の柱 ア 市民・観光客双方が安全安心な観光地

取組の内容	ア-(1)観光客に対する感染対策実施の周知
評価	B : ある程度評価できる 評価の詳細(人)(A:6 B:7 C:0 D:0 E:0)
評価の内容	・キャンプについてジャイアンツと連携し、ホームページなどで来場の際の注意事項やキャンプ入場の際の事前登録なども施されていてよかった。 ・コロナ禍において、前年の無観客によるキャンプの経験を踏まえ、感染症対策をしっかりと周知し、球団や県と連携して有観客によるキャンプが実施できたことから高く評価できる。 ・ジャイアンツキャンプについて、感染対策が求められる中、しっかりと準備して広報し、混乱もなく実施できたことは高く評価できる。

取組の内容	ア-(2)市民・観光関係事業者の感染拡大防止対策
評価	B : ある程度評価できる 評価の詳細(人)(A:3 B:8 C:3 D:0 E:0)
評価の内容	・企業、利用者双方の感染防止に対する意識を高めたものと評価できる。 ・商店街や通り会に対するアルコール消毒やマスク等を補助する感染防止対策は、一定程度コロナ感染症の拡大防止に効果があったと評価できる。 ・ジャイアンツキャンプについて感染対策が求められる中、しっかりと準備してガイドライン等を遵守しつつ実施できたことは高く評価できる。 ・衛生保持の要望が多かったにも関わらず、予算の執行率が5割を切るなど低い。 ・感染防止は皆取り組み、商店街も開けているところが少なく、事業の利用がなかったことは、街のその時の状況にあった取り組みだったのか調査が必要。

戦略の柱 イ 観光産業に対する支援

取組の内容	イー（１）消費・宿泊需要喚起
評価	B ： ある程度評価できる 評価の詳細（人）（A：4 B：9 C：0 D：0 E：0）
評価の内容	・市内貸切バス事業者支援事業は活用希望者が多く、補助額が高額のために増車要望もあった。市内事業者に対する支援策として高く評価できる。 ・域内の消費喚起事業として適時かつ有効に機能したと思う。いずれの事業も必要な対応と認められ、実施できたことを高く評価する。 ・とまーるクーポンで一部宿泊施設への利用集中という課題はあるが、利用者間の公平性を考えると、やむを得ないのではないかと思う。 ・まん延防止等の影響により事業の延長、中止があり期待した効果は得られなかったのではないかと思われる。

取組の内容	イー（２）事業継続支援・応援給付金
評価	B ： ある程度評価できる 評価の詳細（人）（A：5 B：7 C：1 D：0 E：0）
評価の内容	・多岐に渡る支援制度は、那覇市に住む市民や那覇市内の事業者が広く活用できる支援で、評価できる。 ・雇用対策として、また大きく落ち込む商店街・通り会事業継続等の各種支援策の取組みは高く評価できる。 ・コロナ禍において、大きな影響を受けている観光関連事業者への事業継続の下支えとしての支援であり評価できる。 ・雇用を守る支援事業は、とても分かりづらい感じがした。

取組の内容	イー（３）新たな観光コンテンツ創出支援
評価	E ： 判断不可 評価の詳細（人）（A：1 B：0 C：0 D：1 E：10）
評価の内容	・この取り組みは「平時」を対象とするものなので、パンデミックが収まったとは言い難い現状では、そもそも「評価の対象（タイミング）ではありません」との回答で良かったのではないかな。 ・想定よりもコロナ禍が長引いていることが、未実施という結果に終わったのではないかな。今回の結果は致し方ないのではないかなと思う。 ・これから取り組む事業だが遅い気がする。 ・R3年度の未実施は時間的・予算的に厳しかったことを理解するが、情報招請依頼などして、現状の把握、ニーズ把握に努めるべきであった。

戦略の柱 ウ 新しい旅行スタイルの取り組み

取組の内容	ウー（１）県内旅行の推進
評価	B ： ある程度評価できる 評価の詳細（人）（A：4 B：7 C：0 D：0 E：0）
評価の内容	・戦略に示されている取組の内容が実施されている。 ・観光体験クーポン取扱いの変更について、お土産クーポンとしても利用できるようにしたことは評価できる。 ・域内の消費喚起事業として適時かつ有効に機能したと思う。 ・明らかに伸びる事業支援ではあるが沖縄全域対象にしないと消費できないのではと思う。 ・公平公正の観点から利用者目線に沿った検証が必要と考える。

取組の内容	ウー（２）都市型ワーケーションなどの滞在型旅行の促進
評価	B ： ある程度評価できる 評価の詳細（人）（A：1 B：10 C：0 D：0 E：1）
評価の内容	・補助金交付事業者が２事業者ではあるが、補助が行えたと評価できる。 ・施設プロモーションの実施により、市内の情報通信技術利活用を図ることは、柔軟な働き方の実現で評価できる。 ・DX推進による業務効率化の一環でテレワーク需要が定着化する中、本土大手企業のワーケーションスタイル（滞在型）の誘致に効果的な施策と考える。 ・テレワーク施設の新たな整備、利活用の支援を行い関係人口の創出に繋げたことは評価できるが、新しい旅行スタイルとして観光振興に寄与したか疑問がある。

取組の内容	ウー（３）都市型 MICE 受入の推進
評価	B ： ある程度評価できる 評価の詳細（人）（A：1 B：2 C：3 D：1 E：5）
評価の内容	・回復期の途上にあり、意見交換段階に留まっていることも致し方ないと判断できる。 ・MICE 誘致に関して、現時点で評価する対象は難しいのかと思われる。 ・市の取り組みが検討段階のため評価できない。 ・現状と課題の分析、取り組みの方向性など、もう少し詳細な情報の明示を求めたい。

戦略の柱 エ デジタル技術活用促進

取組の内容	エー（１）観光関連事業者のデジタル技術活用を促進
評価	E ： 判断不可 評価の詳細（人）（A：1 B：0 C：1 D：0 E：10）
評価の内容	・この取り組みは「平時」を対象とするものなので、パンデミックが収まったとは言い難い現状では、そもそも「評価の対象（タイミング）ではありません」との回答で良かったのではないかと。 ・デジタル技術活用は実際に必須な物と思うが、事業主に対して費用負担がかなり多いのではと思われる。

取組の内容	エー（２）デジタルマーケティングの推進
評価	E ： 判断不可 評価の詳細（人）（A：1 B：4 C：1 D：0 E：7）
評価の内容	・市の取り組みがまだスタート段階であり評価できない。 ・実施したデータ分析事業者へのヒアリング内容が不明なため評価できない。 ・手法検討中により取組評価が困難。

那覇市コロナ期観光回復戦略に基づく施策の提言について

1. 優先的に実施が必要な観光施策

- ・那覇への誘客や滞在を伸ばす取組

とまーるクーポンの事業継続に加え、GoTo トラベルや地域観光事業支援を活用した来訪者に対する上乗せ補助の実施、市内での観光消費につながるイベントや国際通り・ウォーターフロントエリア等での定期的なイベントの開催など、目的やターゲットを設定したイベント実施への支援を図っていただきたい。また、民間事業者の企画提案に対する補助など、那覇の魅力体験や楽しむコンテンツ創出・実現に向けた支援も行い、那覇への誘客や滞在を伸ばすことによる経済波及効果が期待できる取り組みをおこなっていただきたい。

- ・レンタカー不足による他公共交通機関代替の取組

レンタカー不足が深刻化する中で、レンタカーがなくても市内を周遊できることのプロモーション活動等、公共交通機関に加え、ハイヤータクシーやシェアサイクル等の幅広い移動手段を活用した取り組みを進めていただきたい。

- ・人材確保に向けた支援

時給を上げるための施策等に加え、福利厚生拡充や継続的な人材確保のための意識啓発セミナー開催などの支援、有給のインターンシップに対する支援などを行っていただきたい。

- ・都市型 MICE 受入れへの取組

関係団体や業界団体の意見・意向聴取など実効性ある取組を迅速に進めていただきたい。

2. 取組の内容に必要な施策

取組の柱 ア 市民・観光客双方が安全安心な観光地

ア-（１）観光客に対する感染対策実施の周知

旅行会社や観光施設等と連携し、旅前、旅中を意識した感染対策実施状況等の安全安心の周知をお願いしたい。また、イベント開催による感染情報の公開を行い、安心感の共有、対策徹底のアピールを行っていただきたい。

ア-（２）市民・観光関係事業者の感染拡大防止対策

インバウンド客向け感染対策説明に係る支援、WEB や SNS を活用した感染防止策の具体的取組情報、混雑状況等の情報を提供する仕組みを検討していただきたい。

取組の柱 イ 観光関連産業に対する支援

イー（１）消費・宿泊需要喚起

那覇の魅力を引き出す支援で那覇への集客に繋げ、那覇宿泊者への特典などで滞在を伸ばすなどの取組をしていただきたい。また、消費・宿泊需要喚起施策の効果が飲食を含め広く事業者にあふような、取り組みの継続や業界・業種間の公平性に配慮した支援をお願いしたい。

イー（２）事業継続支援・応援給付金

支援のニーズ把握、効果検証を行い、事業者が継続して事業運営を行える施策を行っていただきたい。

イー（３）新たな観光コンテンツ創出支援

SDGsに関連したコンテンツ（ユニバーサルツーリズム等）、既にある観光素材を活用したコンテンツなど、那覇滞在に繋がる魅力あるコンテンツ創出目的を念頭に柔軟に活用できる支援事業を企画していただきたい。

取組の柱 ウ 新たな旅行スタイルの取り組み

ウー（１）県内旅行の推進

事業の継続実施を行い、事業者、利用者双方の満足度調査等を行って検証していただきたい。また、コロナ感染拡大等による事業中止の検討は、観光産業の厳しい現状を勘案し判断していただきたい。

ウー（２）都市型ワーケーションなどの滞在型旅行の促進

市内周遊サービスをサブメニューとするプラン、MICE とのコラボプラン、とまえるクーポンと連携したプランなど、ワーケーション利用促進のためのプラン支援を行っていただきたい。

ウー（３）都市型 MICE 受入の推進

関係団体や業界団体の意見・意向聴取など実効性ある取組を迅速に進めていただきたい。（１．優先的に実施が必要な観光施策「MICE 受入れへの取組」再掲）

市内の MICE コンテンツを繋げたパッケージとして主催者へ提案する仕組み作り、施設情報や MICE コンテンツの集約・発信等による MICE 開催誘致に繋げる施策を行っていただきたい。

取組の柱 エ デジタル技術活用促進

エー（１）観光関連事業者のデジタル技術活用を促進

デジタルデバイス活用による那覇市の情報発信の取組、店舗や観光施設のデジタル技術導入のための環境整備支援を行っていただきたい。

エー（２）デジタルマーケティングの推進

購買データと人流分析を組み合わせた観光統計の充実を図っていただきたい。ビッグデータから検討する施策づくりでは、事業者や地域住民の意向も反映できる仕組みづくりをしていただきたい。また、デジタルマーケティングを活用できる人材育成強化の支援や先進地事例を学ぶ機会の提供などを行っていただきたい。

以 上